

Kosen Watching

私たちの高専



木更津工業高等専門学校
電気電子工学科3年 穂倉 ちなみ

「高専」ってロボコンで有名であるけれど、実際のところ高専がどんな学校なのかを知らない人はいっぱいいると思います。実のところ、私も中学の時進路を考えるようになるまで知りませんでした。ある中3の夏の日、「この学校、体験入学面白そうだから行ってみたい?」と友達に言われ、一緒に行ったのがきっかけで高専という学校に興味を持ち、入学することを決意しました。

ということで、私の通っている木更津高専をご紹介します。私の学校は、千葉県木更津市というところにあり、東京から特急で約1時間で木更津に着くことができます。駅から学校までは自転車です。木更津という町は、とあるドラマ・映画の舞台として一躍有名になり、近頃ではドラマの撮影場所として使われるようになってきました。校舎は平成15年8月に新しく生まれ変わり、バリアフリーを意識して作られているため、スロープがあったりエレベーターがあったりと怪我をしても安心して過ごせる学校です。私が一番嬉しいのは、冷暖房が完備されていていつでも快適に過ごせることです。また、高台に建っているため、天気の良い日には教室から富士山を眺めることもできます。夕日に映える富士山はとてきれいで見入ってしまいます。横浜と東京湾を挟んで向かい合っているということもあり、学校から駅までの帰り道には横浜の夜景を見ることが出来ます。この木更津からの風景を眺めることは、私のちょっとした楽しみでもあります。このほかに1番楽しみにしている学校行事があります。それは「祇園祭(文化祭)」です。私は学友会に所属していることもあり、文化祭を裏から見ることが出来ます。

文化祭という大きな行事を仕切る立場にいるのは大変だけれど、頼りになる先輩達の教えに従い動くだけでいいので、先輩の私たちは安心して取り組むことができます。今年は新たな企画として「Mr.がMs.コンテスト」という女装コンテストを開催しました。上位に入った男の子は、女の子と見間違えるほどかわいくキレイになり、新企画にしては体育館が埋まるほど観客も集まったのでとても盛り上がりました。また、クラスの人々と一緒に企画を持ち楽しみながら文化祭を送れた事もあり、いい思い出の一つとなり大満足です。

最後になりましたが、本校の教育方針についてお話ししておきたいです。「何にもまして人間形成は重要である」をもとに、人間形成・専門の科学技術の修得・心身の鍛練の3つが掲げられています。以上の教育方針を基にし、準学士課程では人間形成・科学技術の修得・コミュニケーション能力・創造力を学習・教育目標としています。その目標の下に本校では、機械工学科・電気電子工学科・電子制御工学科・情報工学科・環境都市工学科の5つの学科が設置されています。それぞれの学科が、各実験に対応した実験室・実験棟を持つことにより、講義で理解するだけでなく実際に実験実習をして体験することで、より理解を深めています。

このように私は将来に向けて授業やレポートに追われるなど大変な日々を送っていますが、信頼のおける友達に囲まれながら楽しく頑張っていきたいと思っています。

所在地	千葉県木更津市	入学定員
学 科	機械工学科	40
	電気電子工学科	40
	電子制御工学科	40
	情報工学科	40
	環境都市工学科	40
専攻科	機械・電子システム工学専攻	8
	制御・情報システム工学専攻	8
	環境建設工学専攻	4



信頼のおける友達に囲まれながら楽しく頑張っていきたい

木更津高専

建物の改修・改築工事が終わり、快適な環境で授業に。

長岡高専

長岡工業高等専門学校
環境都市工学専攻1年 田邊 麻由子

長岡高専は新潟県長岡市という、豪雪地帯にあります。本校は長岡市の中でも山のほうにあるので、毎年たくさんの雪が降ります。私が本科の1年生として本校の入学式に来たとき、4月だというのに、まだ雪が残っていて、本当に驚いたことを今でも覚えています。

駅から学校までは、バス10分+徒歩15分くらいです。徒歩15分といいますが、学校は山の頂上にあるので、歩いて坂を登るのは結構な運動になります。夏は汗だくになって、学校に到着します。周りには、田んぼと住宅地が広がっています。1番近いお店は徒歩20分のところにあるコンビニ、という山の中に長岡高専は建てられています。本校のすぐ隣には悠久山という桜の名所があります。春にはとてもたくさんの桜が咲き、花見客で賑わいます。

2年前の新潟県中越地震では、学校全体に大きな被害を受けました。ほとんどの建物にひび割れが発生し、いくつかの建物は取り壊さなければならない状況にありました。つい最近、すべての建物の改修・改築工事が終わり、快適な環境で授業を受けることができるようになりました。とはいっても、新しい校舎の建設には、敷地の大きさや地震の被害を免れた校舎との位置関係という制約のせいか、建物と建物のつながりが不自然な箇所もあって、まだ十分に馴染めないところがあります。たとえば、ある建物の3階を歩いていたはずなのに、隣の建物に来たら、2階になっていて戸惑ったというようなことも、まだなくなりません。

本校では、学生会、寮友会(寮の学生会のようなもの)の活動が盛んです。11月には学園祭が行われました。他にも、球技大会や運動会などが学生会の運営で行われています。

学生寮では現在350人程度の学生が生活しています。全学生の約30%が寮生です。私は本科の5年間寮で生活していました。寮では、常に自分の好きなことをできるわけではありませんし、自分のことはすべて自分でしなければならず、他にも面倒なことがたくさんありました。しかし、今では寮生活は楽しい思い出です。また、寮生活では本当にさまざまなことを学ぶことができました。寮は辛いことだけではなく、寮祭のような特別な場面や日々の生活の中でも学年を越えた交流があり、楽しいこともたくさんあるところです。

本校の専攻科は設置されてから7年が経ちました。現在では1、2年生合わせ、電子機械システム工学専攻35人、物質工学専攻16人、環境都市工学専攻22人の学生が専攻科に在学し、学習と研究の日々を送っています。

ここまで、私が思う「長岡高専」を紹介してきました。いろいろと勝手に書きさせていただきましたが、興味のある方はぜひ一度本校に来てみてください。その際には、春に来ることをお勧めします。雪が解けて、桜が本当に綺麗です。

所在地	新潟県長岡市	入学定員
学 科	機械工学科	40
	電気電子システム工学科	40
	電子制御工学科	40
	物質工学科	40
	環境都市工学科	40
専攻科	電子機械システム工学専攻	12
	物質工学専攻	4
	環境都市工学専攻	4

